

## 引用文献

- Ambrose, S. A., Bridges, M. W., DiPietro, M., Lovett, M. C., & Norman, M. K. (2010/2014). 栗田佳代子(訳) 大学における「学びの場」づくり:よりよいティーチングのための7つの原理. (pp.74-87). 玉川大学出版部.
- 荒井直美, 根本淳子, 喜多敏博, 鈴木克明. (2016). 看護師対象の院内研修における改善支援ツールの開発. 日本教育工学会論文誌, 39(Suppl), 57-60. <https://doi.org/10.15077/jjet.S39039>
- Bloom, S. B., Hastings, J. T. & Madaus, G. F. (1971/1973). 梶田叡一, 渋谷憲一, 藤田恵璽(訳). 教育評価法ハンドブック:教科学習の形成的評価と総括的評価. (p.46). 第一法規出版.
- Bransford, J. D., Brown, A. L., & Cocking, R. R. (2000/2002). 森敏昭, 秋田喜代美(監訳). 21世紀の認知心理学会を創る会(訳). 授業を変える:認知心理学のさらなる挑戦. (pp.51-77). 北大路書房.
- Dick, W., Carey, L., & Carey, J. O. (2001/2004). 角行之(監訳). はじめてのインストラクショナルデザイン. (pp.6-8). ピアソン・エデュケーション.
- Gagné, R. M., Wager, W. W., Goals, K. C., & Kerrer, J. (2005/2007). 鈴木克明, 岩崎信(監訳). インストラクショナルデザインの原理. (pp.3-5, 25-27, 35, 130-131, 220-230). 北大路書房.
- 後藤千枝, 松田安弘, 山下暢子, 吉富美佐江. (2016). 看護単位のエducation担当者が役割遂行上直面する問題に関する研究. 群馬県立県民健康科学大学紀要, 11, 97-117. <http://id.nii.ac.jp/1725/00000089/>
- グレッグ美鈴, 八木哉子, 玉田雅美, 前田千晶, 川戸美智子, 林千冬, 鶴嶋弘子, 小林由香, 河村圭美, 岡山智子, 田中朋子. (2016). 新人看護師教育における教育担当者の役割遂行のための支援. 神戸市看護大学紀要, 20, 5-13. <http://id.nii.ac.jp/1189/00000176/>
- Grow, G. O. (1991). Teaching Learners to Be Self-Directed. *Adult education quarterly*, 41(3), 125-149.
- 糸井和佳, 石渡智恵美, 伊藤靖代, 福井郁子, 野田義和, 岡潤子, 城野美幸. (2018). インストラクショナルデザインに関するFD研修会による看護学科教員の学び. 帝京科学大学紀要, 14, 259-264. <http://doi.org/10.18881/00000533>

- 岩永康之, 平岡齊士, 喜多敏博, 北村士朗, 根本淳子. (2019). ガニエ 9 教授事象および ibstpi®インストラクターコンピテンシー標準を活用した ICLS 指導者養成のためのチェックリストの開発. 日本教育工学会 2019 年秋季全国大会抄録, 93-94.
- 亀岡智美, 上國料美香, 飯野京子, 小澤三枝子, 劔物祐子, 水野正之, 木村弘江, 原田久美子, 大柴福子, 田村やよひ. (2017). 政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の現状 組織運営と提供している研修に焦点を当てて. 国立看護大学校研究紀要, 16(1), 1-9. <http://doi.org/10.34514/00000204>
- 金子智栄子. (2007). マイクロティーチングに関するわが国の研究動向について:保育者養成課程へのマイクロティーチングの導入と課題. 文京学院大学人間学部研究紀要, 9(1), 131-150.
- Knowles, S. M. (1980/2012). 堀薫夫, 三輪建二(監訳). 成人教育の現代的実践:ペタゴジーからアンドラゴジーへ. (pp.39-40). 鳳書房.
- 厚生労働省. (2021). 看護職員の資質の向上に係る研修事業の実施状況及び事業計画に関する調査結果. <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000901361.pdf> (検索日:2022 年 3 月 16 日)
- Krippendorff, K. (1980/1989). 三上俊治, 椎野信雄, 橋元良明(訳). メッセージ分析の技法:「内容分析」への招待. 勁草書房.
- Lauder, W., Reynolds, W., & Angus, N. (1999). Transfer of knowledge and skills : some implications for nursing and nurse education, *Nurse education today*, 19(6), 480-487. <https://dx.doi.org/10.1054/nedt.1999.0338>
- 日本看護協会. (2012). 継続教育の基準 ver.2. <https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> (検索日:2022 年 2 月 6 日)
- 日本看護協会. (2016). 看護師のクリニカルラダー. <https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/fukyukeihatsu/ladder.pdf> (検索日:2022 年 7 月 7 日)
- 日本看護協会. (2021a). 看護職の倫理綱領. [https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code\\_of\\_ethics.pdf](https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf) (検索日:2022 年 2 月 6 日)
- 日本看護協会. (2021b). 就業継続が可能な看護職の働き方の提案 [https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/hatarakikata/pdf/wsr\\_for\\_nurse.pdf](https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/hatarakikata/pdf/wsr_for_nurse.pdf) (検索日:2022 年 3 月 17 日)
- 西岡加名恵. (2015). 「逆向き設計」論に基づくパフォーマンス評価の進め方:言語活動の評価への応用可能性を探る (国語科授業づくりと言語活動のあり方:言語活動をどのように

- に評価するか). 全国大学国語教育学会国語科教育研究:大会研究発表要旨集, 128, 167-170. [https://doi.org/10.20555/jtsjs.128.0\\_167](https://doi.org/10.20555/jtsjs.128.0_167)
- 嶋澤奈津子, 末永由理, 安藤瑞穂, 宮本千津子. (2018). 教育担当者および部署管理者が考える新人看護職員研修を担う教育担当者に必要な力. 日本医学看護学教育学会誌, 27(1), 19-27.
- 白水始. (2012). 認知科学と学習科学における知識の転移:<特集>知識の転移. 人工知能, 27(4), 347-358. [https://doi.org/10.11517/jjsai.27.4\\_347](https://doi.org/10.11517/jjsai.27.4_347)
- 鈴木克明. (2005). e-Learning 実践のためのインストラクショナル・デザイン:<特集>実践段階の e ラーニング. 日本教育工学会論文誌, 29(3), 197-205. <https://doi.org/10.15077/jjet.KJ00004286879>
- 鈴木美津枝, 村上礼子, 八木街子, 三科志穂, 浅田義和, 関山友子, 江角伸吾. (2017). ICT を活用した「演習」から「シミュレーション実習」へ繋ぐ企画の評価. 日本シミュレーション医療教育学会雑誌, 5, 30-34.
- 高橋暁子, 杉浦真由美, 甲斐晶子, 富永敦子. (2019). 日本におけるインストラクショナルデザイン研究の動向 (2003-2018). 日本教育工学会論文誌, 43(3), 253-265. <https://doi.org/10.15077/jjet.43025>
- 竹内久美子. (2020). 新人看護師研修に関する病院専任教育担当者の悩み. 和洋女子大学紀要, 61, 147-152. <http://id.nii.ac.jp/1159/00001948/>
- 梅野晶子, 浅田義和. (2015). インストラクショナルデザインを用いた大規模災害訓練の改善検討. 日本職業・災害医学会会誌, 63(6), 378-384.
- 渡辺健太郎, 舟島なをみ, 中山登志子. (2018). 看護単位別学習会の企画・運営に伴う困難とその克服法の解明. 看護教育学研究, 27(1), 37-49. [https://doi.org/10.19015/jasne.27.1\\_37](https://doi.org/10.19015/jasne.27.1_37)
- 和住淑子, 黒田久美子, 佐藤まゆみ, 西山ゆかり, 鈴木康美, 梅野加寿枝, 三谷理恵, 室谷和子, 白川秀子, 荒屋敷亮子, 宮崎貴子. (2012). 新人看護師教育担当者育成モデルプログラムの開発と試行. 千葉大学大学院看護学研究科紀要, (34), 45-50. [https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900116946/21859698\\_34\\_45.pdf](https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900116946/21859698_34_45.pdf)
- Wiggins, G., & McTighe, J. (2005/2012). 西岡加奈恵(訳). 理解をもたらすカリキュラム設計:「逆向き設計」の理論と方法. (pp.1-66). 日本標準.
- 山本孝治, 大重育美, 苑田裕樹, 福島綾子, 姫野稔子, 高橋清美, 田村やよひ. (2021). 災害拠点病院のない地域における ARCS モデルに基づく災害看護研修の試み. 日本赤十字看

護学会誌, 21(1), 74-80. [https://doi.org/10.24754/jjrcsns.21.1\\_74](https://doi.org/10.24754/jjrcsns.21.1_74)

安田節之, 渡辺直登. (2008). プログラム評価研究の方法. 新曜社.

安田節之. (2011). プログラム評価:対人・コミュニティ援助の質を高めるために. 新曜社.

米島望, 水田真由美. (2021). 新卒看護師へのインタビューから見えた看護基礎教育におけるベッドメイキング教育の課題. 日本医学看護学教育学会誌, 29(3), 11-21.